

地理歴史・公民科

教科名	地理歴史科	科目名	探究日本史
科目の目標	(1) 歴史についての興味関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	詳説日本史B(山川出版社)	副教材等	図説日本史通覧(帝国書院)

①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探究の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2) 混迷を深める国際社会を生き抜くための世界観を提示し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

第Ⅲ部 近世

近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。

第Ⅳ部 近代・現代

近代国家の形成・展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。

現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。

大学入学共通テスト向け演習

二次私大演習(文系のみ)

③学習に当たっての留意点

過去の史資料が物語るメッセージをどのように受け取り、未来志向で我々が史実をもとにどう生きていくべきかを考えながら歴史の学びを進めてもらいたい。当然、歴史を学ぶ中には、基礎的な知識を覚える作業も多分に含まれるが、政治・経済・外交・文化の流れや相互の関連を意識し、世界史的・地理的見方も踏まえつつ、一辺倒ではない複眼的な歴史観を磨いてもらいたい。

本授業では、世界の近現代史についての基礎知識も身に付けながら、正しい歴史認識を持つこととあわせて、大学受験に対応できるよう日本史の近現代史を学習し、歴史を中心に社会科学の方法論を学んでいく。

④評価の観点

- | | |
|---------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たす |
| (2) 思考・判断・表現
【思】 | 我が国の歴史の展開から課題をみだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 |
| (3) 資料活用の技能
【資】 | 我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 |
| (4) 知識・理解
【知】 | 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 |

⑤評価の方法

下位目標: 授業の内容と世界史の基本の確認、日本史の共通テストレベルの知識の定着。

中位目標: 歴史に対しての興味・関心を持ち、関連する現代社会の諸事象への理解を深める。

上位目標: 歴史を学ぶことを通して、歴史学さらに社会科学の方法論を身に付ける。

以上の目標について、どの段階まで達成できたかを、定期考査を中心に、授業中の観察を加味して総合的に評価していく。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法	備考
4	幕藩体制の確立	幕藩体制の確立・展開・動揺という軸のもと、近世における日本の社会や文化の特色について考える	・近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見だし、周辺地域との関係と関連付けて情報を収集し、多面的・多角的に考察した結果を適切に表現することができるか。【思・資】	前期中間考査
5	幕藩体制の展開	幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化		
6	幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化		
7	近代国家の成立	日本の近代国家の成立を、欧米の近代社会の成長と発展、さらにアジアへの進出と絡めて考える		
8		開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争	・欧米の近代社会の成長と発展を理解し、幕末の動乱と明治新時代へと移り変わる日本国内の政治・社会・文化の変化を理解できているか【知】 ・日清・日露戦争前後の国際関係の変化に興味を持つことができているか。【関】	前期期末考査
9		日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達		
10	二つの世界大戦とアジア	日本史的視点で二つの大戦とその後の冷戦、第三世界の成立、経済成長等の状況について考える	・二つの世界大戦と日本の関わりを理解できているか。また、大正・昭和と移り変わる日本国内の政治・社会・経済・民衆の動きが理解できているか。【資・知】 ・日本が軍国主義へと向かう背景と戦後の占領政策の内容、さらには日本が主権を回復し国際社会に復帰した後の政界の動きや経済成長の動向を理解できているか。【資・知】 ・世界の諸問題を理解し、現代の日本が何をすべきなのか考えることができるか。【思】 ・共通テストレベルの問題が、実際に解けるかどうか。 ・実際に大学の入試問題を解けるかどうか ・求められていることが実際に知識偏重になっていないことの確認 ・入試問題の中で要求される社会科学の方法論についての関心	後期中間考査
11	占領下の日本	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 現代世界がかかえる課題について、日本史の現代史の展開を通して考える		
12	高度成長の時代 激動する世界と日本	占領と改革 冷戦の開始と講和 55年体制 経済復興から高度成長へ 経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺		
1	文系のみ	共通テスト向け演習 大学入試の問題演習を通して、社会科学で何が問われているのかを考える		